



ゆめ通信

発行 日本養豚事業協同組合

〒104-0033 東京都中央区新川2-1-10
八重洲早川第2ビル6階

TEL.03-6262-8990 FAX.03-6262-8991

新年のごあいさつ

日本養豚事業協同組合
理事長 松村 昌雄

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスによって緊急事態宣言と共に迎えた新年でした。昨年度は集まる事が出来ず、総会、理事会、セミナーなど、全てオンラインに頼らざるを得ない状況でしたが、10月より感染者は減り始め緊急事態宣言も解除となり、今年の総会は参集しての開催が出来るのではないかと期待しております。

昨年も高豚価となり、良い一年となりました。昨年のセミナーでは、鹿熊修氏（有稲波ファーム・茨城県）より1母豚2,439kg出荷という素晴らしい生産成績を上げる為の技術が公開され、農家養豚の生きる新たな道も紹介されました。中小経営体の多い豚事協ならではのセミナーだったと思います。

今年4月からは関税が一段と下がります。従価税は従来の分岐点価格524円の1.2%、金額にして6.29円となり、従量税は70円となります。従ってコンビネーション輸入は減少するでしょう。これからは益々コスト低減が求められます。昨年度の輸入肉はコロナの影響が大きかったのか、前年比99%となり、外食の規制、家庭内消費増による結果、高豚価となりました。これにより豚肉の自給率は生産努力目標を超える50%達成となりました。今後もこの状態が続くと良いのですが、油断する事なく経営に当たることが重要です。畜産統計によれば、豚飼養農家は3850戸、頭数929万頭、子取り雌豚82.3万頭と前回比4%少なく、肥育豚は逆に767.6万頭と1.1%増えました。これは多産系母豚の普及がかなり進んでいる数

字とみられます。1戸当たりでは前回（平成31年）比13.9%増、雌豚270.8頭まで拡大し、大規模経営が拡大している状況です。

飼料価格をみると2020年9月からシカゴ・トウモロコシ相場は上昇に転じ、3ドル50セント近辺の相場が現在5ドル70セントと大きく上昇しています。昨年米国の1エーカー当たりの収穫量は177ブッシェルと豊作となり、これ以上の上昇は考えにくいと思われます。話によれば昨年の中国のトウモロコシは2億トンを超える豊作との事で、米国からの輸入は減ると思われれます。供給面での不安は解消されてもフレートの上昇、円安、原油高と、飼料価格の不安要素は多くあります。

初発から3年が経過した豚熱は、すでに74農場もの殺処分が行われ、清浄化には先が見えませんが、アフリカ豚熱も人の交流が始まれば必ず脅威となります。アニマルウェルフェアが今後どういう形で影響が出るのか。先日発行されたピッグエクスプレス（㈱アニマル・メディア社発行）によれば、2030年末までに日ハムグループの国内養豚場において妊娠ストールは全面廃止と発表されたそうです。そして人工加工された植物タンパク（いわゆるフェイクミート）が今後どのように消費者に受け入れられるのか。まだまだ前途多難ですが、支部セミナー、女性部セミナー等も元通りの姿に戻せたらと考えております。

総会（2月25日開催予定）では皆様方に会える事を楽しみに、この餌高を乗り切りましょう。

第12回女性部ウェブセミナー開催

女性部部长 川上 志江

コロナ禍の中45名が参加し、女性部では初めてのウェブセミナーを開催しました。11月26日（金）15時から16時半まで、第1部は前田佳良子氏（セブンフーズ㈱代表取締役・熊本県）による講演会「失敗からの“働き方改革”への挑戦」、第2部はフレンチレストラン「ラフィナージュ」のオーナーシェフ・高良康之氏による美味しい豚肉の焼き方レクチャーという2部構成でした。会員・非会員問わずご参加いただきました。

今までの女性部会では、一泊二日の日程で著名なシェフによる豚肉料理の講習会、また講演会は講師にコンサル業務に携わる獣医の方々、活躍されている女性達、農林水産省の方々などをお招きし、好評でした。都市部開催に拘わらず地方でも、また夏休み開催などご家族ご夫婦でも参加できるように企画してまいりました。このコロナ禍でウェブというツールを使い、全国から気軽に参加して頂くことができました。

女性部の活動として2020年11月に行った経営者、女性従業員向けアンケートでは共に半数を超える回収率となり、その中でまだまだ女性部会の周知が不十分であり女性特有のライフワークバランスへの対応が課題として上がりました。今回のセミナーは課題解決にも繋がると思い企画しましたが、おかげさまで、セミナー終了後に皆様から好評価をいただきました。

第1部について

セブンフーズ㈱会社紹介の動画の皆様にご覧いただきました。爽やかなBGMが流れる中、空撮による広大なスケールで会社の魅力が存分に伝わりました。従業員の澁刺とした活躍の様子もよく伝わりました。

熊本県菊池市で常に挑戦し続ける企業として、1970年に創業し、今年で51年目になります。

前田佳良子氏は2004年に社長を引き継がれ、幾多の試練に向かい合いながら乗り越えてこられたと聞いております。一般社団法人日本食農連携機構の理

事をはじめ、農林水産省・畜産部会の委員など多くの役職を歴任されています。農林水産省主催の令和3年度全国優良経営体表彰において「働き方改革部門」で農林水産大臣賞を受賞されました。

養豚事業と野菜生産事業の連携による持続可能な資源循環型農業を確立されています。「人」は最大の財産であると仰る前田社長は、働き方改革に積極的にチャレンジし、90名近くの従業員とともに、年間50,000頭の出荷実績を上げています。

女性のライフワークバランスに合わせた働き方、会社の制度的な対応（給料、労働時間、休憩、交通費、昇給、等級、社会保険）を福利厚生一覧表にまとめられて従業員への説明の材料として構築されていました。働き方改革への取り組みは、いつでも変更できるように、また始める勇気と止める勇気はセットで柔軟な発想を持って取り組むことがポイントだそうです。講演後に3つのジャンルから（ライフワークバランス・雇用・社長業）活発な質疑応答が行われました。特に印象に残ったことの一つ



前田 佳良子氏



肥育豚の様子



自家配施設



キャベツ畑での収穫の様子

には女性従業員を増やすにはどうしたら良いか？という質問に対して、「あなたがもっと積極的に前に出るように」とのアドバイスがありました。これは問題意識を感じたその人がその問題に直接関わるのが最も良いというご指摘で、女性自身も積極的に経営に参画するべきなのだと言われ、皆さんにエールを送られたのだと感じました。

第2部について

高良シェフは、1989年に渡仏し2年後に帰国されてから、赤坂「ル・マエストロ・ポール・ボキューズ・トーキョー」の副料理長、日比谷「南部亭」、上野「ガラスリーレカン」料理長、「銀座レカン」総料理長を勤め上げ、2018年東京・銀座にご自身のお店「レストラン ラフィナージュ」をオープンされました。オープン1年目にして、ミシュラン東京2021年版にて1つ星を獲得、同年農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」に於いてブロンズ賞を受賞されています。合わせてフランス料理にたずさわる方が集まり、フランス料理を継承し、次世代への技術指導、

人材育成を目的とした「クラブ・アトラス」の会長をなさっています。

今回の豚肉は、(株)あずみ野エコファーム「優トン」を使用していただきました。料理講習会では、可能な限り会員の方のお肉を順次使用しています。豚のロースとも肉を使った2品の調理動画を皆さんとともに堪能しました。この調理動画は、プロの技を解かりやすく、また手元ズームアップで視覚的にもとても見やすく編集していただきましたので、参加された皆様のご参考になったように思います。高良シェフにはお忙しい中開催当日Zoomにもご参加いただき、参加者からの質問にも答えていただきました。改めて感謝申し上げます。

コロナ禍を契機にこのようなウェブセミナーも今後も継続していきたいと思っておりますので、次回も是非ご参加ください。皆様とまたお会いできますように、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



高良 康之シェフ



ポークソテ・マスターズソース



左から、高良シェフ、川上部長、松村副部長、小野寺（事務局）


 Topics

第1回豚事協ウェビナー

「アメリカ養豚の“今”から考える日本養豚の改善策」 のご案内

有限会社サミットベテリナリーサービスを昨年退職され、ご自身のスキルを更にブラッシュアップするために渡米を決断し、現在アメリカミズーリ州の企業養豚“North West Pork”にてインターンとして研修を積んでいる渡部佑悟先生を講師に迎え、3回に亘り「アメリカ養豚の“今”から考える日本養豚の改善策」と題してオンラインセミナーを開催することになりました。

米国養豚の種豚場におけるマネジメント方法と最新の学会での知見をご報告いただくと共に、日本の養豚コンサルタントを8年間経験した獣医師の目線から日米の養豚を比較し、日本養豚の強みと弱みをお話させていただきます。是非多くの方々にご参加いただきたくお願い申し上げます。

■第1回 アメリカ養豚の“今”から考える日本養豚の改善策

開催日：2022年2月10日（木）13時～15時

内容：種豚舎管理の現状および国際栄養学会とリーマン学会最新知見

参加費：無料（会員・非会員問わず）

参加申し込み方法：下記URLもしくはQRコードからアクセスし、申し込み手続きをお願いいたします。

<https://v2.nex-pro.com/campaign/35748/apply>



■渡部佑悟先生略歴

2006年 茨城県立土浦第一高校卒業

2013年 国立大学法人岩手大学農学部獣医学科卒業

2013年～2021年 有限会社サミットベテリナリーサービス勤務 養豚場のコンサルタント、HACCP・JGAP構築指導業務等を行う

2021年3月26日 聖火ランナーとして福島県田村市を走行

2021年6月～現在 アメリカミズーリ州養豚企業“North West Pork”種豚場にてInternshipを実施中
 （予定）2022年8月～日本帰国。日米での経験を活かした仕事をする

■渡部先生からのメッセージ

みなさんこんにちは、養豚管理獣医師の渡部佑悟です。

私は2021年3月に有限会社サミットベテリナリーサービスを退職し、現在は、アメリカミズーリ州の養豚場で養豚管理トレーニングを受けております。日々の養豚管理トレーニングでは、発情確認や交配、分娩舎作業など、基本的な作業を全て網羅的に学ぶ他、農場マネジメントについても学習しています。その他の活動としては、様々な国際学会に出席し、最新知見の収集にも努めております。

私は日本での8年間におよぶコンサルタントとしての経験とアメリカで得られた知識を併せることで、実りある渡米経験にしたいと思っております。

そしてこの度、日本養豚事業協同組合様のご協力を得て、これらのアメリカ養豚の現場を含めた最新知見を発表する機会を頂きました。アメリカでの養豚知見がすべて日本の養豚に当てはまるとは考えておりませんが、アメリカ養豚を学ぶことは、日本養豚改善の一助になると確信しております。

参加者の皆様とは、私からの一方的な発表だけにとどまらず、ぜひ意見交換を軸に進めていきたいと考えております。ウェビナーという限られた条件下での開催にはなりますが、多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。



※第2回以降は詳細が決定次第ご案内いたします。

事務局からの
お知らせ

豚事協・ホームページリニューアルのお知らせ

豚事協のホームページが新しく変わります！

スマートフォンやタブレット端末でも見やすくなります。もう1つ大きく変わるのは、組合員専用ページ内の資材の注文ページです。どの端末でも見やすく簡単に入力や注文ができるように変更中です。

ログインしていただくと、登録した納品先情報を読み出すことが出来るようになり、注文履歴の確認も出来るようになります。入力の手間が省け、前回

何を注文したかな？という時には画面で確認できますので、より便利になり誤発注等も減ることと思います。

今まで電話やFAXで注文されていた方は、是非ホームページからトライしてみてください。端末があれば、いつでもどこでも気づいた時に発注できます。1月末までには公開予定です。お楽しみに～♪

高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物等処理についてのご協力のお願い

高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物（以下「高濃度PCB廃棄物」という。）については、国が全額出資した特殊会社である中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）を活用し、地元の理解と協力の下、全国5か所の処理施設を活用して処理が行われているところです。ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（平成13年法律第65号）においては、JESCOの処理施設ごとに定める計画的処理完了期限の1年前を処分期間の末日として規定しています。北九州・大阪事業地域

の変圧器・コンデンサー等並びに北九州・大阪・豊田事業地域の安定器及び汚染物等については既に処分期間が到来しており、残りの事業地域についても、今年度末に変圧器・コンデンサー等について、来年度末に安定器及び汚染物等について、それぞれ処分期間が到来することとなります。

つきましては、下記をご参照の上、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の期限内早期処理にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<参照先>

○ポリ塩化ビフェニル（PCB）使用製品及びPCB廃棄物の期限内処理に向けて（パンフレット）

<http://pcb-soukishori.env.go.jp/download/pdf/full9.pdf>

○ポリ塩化ビフェニル（PCB）早期処理情報サイト（環境省ホームページ）<http://pcb-soukishori.env.go.jp/>

○中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）ホームページ <http://www.jesconet.co.jp/>

<問い合わせ先>

○PCB 特別措置法又は電気事業法に基づく手続き等に関する問い合わせ先

参照先のパンフレット 12 ページに記載

○JESCOへのPCB廃棄物の登録、委託契約等に関する問い合わせ先

JESCO 登録担当 Tel：03-5765-1935

○本事務連絡に関する問い合わせ先

環境省環境再生・資源循環局 PCB 廃棄物処理推進室 担当：松岡様 TEL：03-6457-9096

世界各国の日本産畜産物に対する消費者意識について

専務理事 池田 護

近年の世界的な日本食ブームやアジア諸国の所得水準向上などを背景に、日本産の水産物、畜産物の輸出は増加傾向にあります。日本政府は日本産畜産物のさらなる輸出拡大に向けて様々な取り組みを推し進めています。「良い豚・良い餌・良い管理」を掲げる豚事協は、美味しくてヘルシー！ビタミンB群も豊富な健康食品である国産豚肉の国内消費をまずは推し進めています。世界各国の消費者が日本産畜産物をどのように感じているかも探る必要はあるかと思ひ、今回は独立行政法人農畜産業振興機構(atic)が発行している「畜産の情報8月号」¹⁾の調査を参考にしながら、その消費者意識について調査内容をピックアップしながら、コメントも交えて情報提供をさせていただきます。

この調査は豚事協7月発行の「ゆめ通信117号」で紹介しました食肉代替食品の世界各国での調査と関連付けて調査された内容となっています。「畜産の情報8月号」の調査概要としましては令和3年1月～3月にインターネット上で8カ国(日本、米国、中国、ドイツ、インドネシア、タイ、ブラジル、豪州)にて男女別×世代別×居住地域別がほぼ等しい数になるよう、1カ国約1,000人からの回収結果です。調査方法の詳細は割愛しますが、各国間で各カテゴリーにばらつきが無いように調査がされています。

まずは、“自国産食肉を積極的に消費したい”という質問に対しては、ドイツ、豪州がほぼ50%と高く、タイ、ブラジルが20%台と低い回答となっており、日本、米国はほぼ40%で中間的な回答となりました。“自国産牛乳・乳製品”の同様の質問に対しても、食肉とほぼ同様な結果となっていました。畜産技術が進んでいる国が自国産消費をより望んでいる傾向があるようです。次に“日本産食肉を消費したいか”という質問に対しては、日本を除くとタイがほぼ60%と高く、続いてインドネシア、中国が40%台で高い回答となっていました。米国、ドイツ、豪州、ブラジルは10%台で日本産食肉にあまり興味を示さない結果でした。そもそもブラジルの回答では最初の自国産でも日本産でも同じ傾向なのですが、40%近くの人が“どこの国の生産でもいい”という回答を

しているのが、特徴的な傾向です。日本産食肉を消費したいと回答した中で積極性は低いのですが、米国、ドイツ、豪州では男性の方が日本産食肉を食べたいと言う人が多く、これはビジネスで日本食を食べた経験からではないかと推測される結果でした。日本産食肉を消費したいと回答した方々の、全体的な食への志向としては「健康・安全志向が高く、経済性志向の低い」方々が日本産食肉を消費したいと思っているようです。“日本産食肉を消費したい理由”という質問に対しては各国とも40～50%の回答で「おいしいと思うから」という回答でした。イメージとして寿司、刺身、和牛的な日本食イメージが先行している感はあるようです。残念なことですが、「安全だと思うから」という回答は各国とも10%以下で、安全イメージはあまり高くないことは払しょくしていかなくてはならないと感じました。これも全体的な傾向ですが、“日本産食肉を消費したい”と回答した世代としてはミレニアル世代と言われる30歳代で、居住地区としては各国の主要地区にお住まいの方が多いようです。所得者層としては先程の理由にもあったように経済性志向の低い高所得者層に多い傾向があるようです。国としてはすでに畜産が盛んである欧米よりはアジア・東南アジア諸国からの要望が強いとの分析がされていました。

2020年度の豚肉輸出量は1,489トンで、輸出額は1,828百万円(いずれも財務省・貿易統計)です。牛肉に比べると非常に小さな数量、金額です。やはり自国産食肉を消費したいと言う方々が7割におよぶ国内消費者の皆さんに是非国産豚肉だけを食べていただけるように、国内自給率アップに向けて取り組んでまいりましょう。

【紹介文献】

- 1) 「畜産の情報」2021年8月号 No.382 76～100ページ 2021年7月26日 独立行政法人農畜産業振興機構発行

事務局からの
お知らせ

国際養鶏養豚総合展2022・出展のご案内

2022年4月27日（水）～29日（金）に「本物との出会い。世界に誇る養鶏・養豚の未来がここに」をテーマにポートメッセなごやで開催されるの国際養鶏養豚総合展2022に、会員の皆様との交流および会員以外の方々へのPRを目的として、日本養豚事業協同組合も出展いたします。

国際養鶏養豚総合展では施設、機械、システム、

商品の展示、消費者向けの食品の展示などが行われます。

通常、一般の方の入場は有料（1,000円）となりますが、ご希望の会員の皆様には豚事協より招待状を配布いたします。日程調整の上、是非多くの皆様にご来場いただきたくお願い申し上げます。招待状の配布につきましては改めてご案内致します。

開催日時：2022年4月27日（水）～29日（金・祝）10：00～17：00

※最終日のみ16時まで

会場：ポートメッセなごや

愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目2

あおなみ線-金城ふ頭駅

（JR名古屋駅から約24分）から徒歩約8分

URL：<https://ipps2022.com/index.html>



国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマーク決定

国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマークが発表されました。

この認定ロゴマークは公募により全国から寄せられた226作品の中から選ばれた「国産純粋種豚の『命のバトン』が脈々と受け継がれていく様子をデザインした」という中口典子さん（大阪府吹田市）の作品。

同協議会会員が生産した豚肉の普及と国産純粋種豚の維持改良推進を行っていくことを目的として、生産者の申請により「国産純粋種豚改良協議会銘柄豚」と認定された豚肉に与えられ、販売促進ツールなどに利用予定とのことです。

銘柄豚認定および認定ロゴマーク使用に関するお

問い合わせは下記まで。

国産純粋種豚改良協議会 事務局

（（一社）日本養豚協会内）

電話03-3370-5473 FAX03-3370-7937



豚事協共同購入資材のご案内

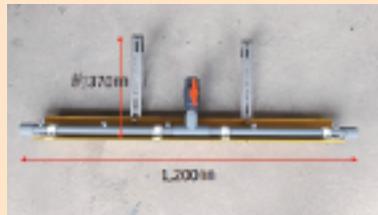
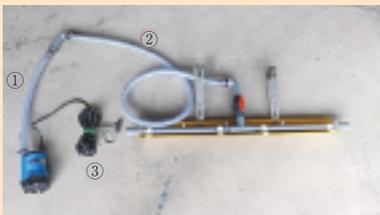
プレキューブユニットタイプ

～お持ちのタンクで手軽に散水、薬液散布！～

お持ちのタンクを軽トラックなどに積んで、手軽に消毒液などを散布できる、ノズル付きポンプユニットです。電源はシガーソケットでOK。

仕様・サイズ：①タンク内ホース25mm×0.8m 本体価格：66,000円（税込み・送料別）
②タンク外ホース25mm×2m 備 考：タンクは含まれておりません。
③電源コード5.5m

購入ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。



●●● 第21回 通常総会 開催のお知らせ ●●●

第21回通常総会を下記の要領にて開催致します。今回は定員を設けての開催となります。詳細は別途ご案内致しますので、ご参加いただきたくお願い申し上げます。感染対策を行いながら、講演会・懇親会も行う予定です。

開催日時：令和4年2月25日（金） 午後1時30分～

定 員：75名

開催場所：大手町サンケイプラザ

東京都千代田区大手町1-7-2 TEL03-3273-2230

丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線

「大手町駅」A4・E1出口直結

JR「東京駅 丸の内」北口より徒歩7分

議 案：◆第21期事業報告、決算（案）の承認

- ◆定款変更決議
- ◆役員任期満了に伴う改選
- ◆第22期事業計画案の承認
- ◆経費の賦課徴収方法の決定

※賛助会員様は原則1団体1名様での
ご参加をお願い申し上げます。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

2021年は年明け早々から緊急事態宣言が発令されるという残念な幕開けとなりました。また東京オリンピック・パラリンピックが無観客開催となったことは仕方がないとはいえとても残念でした。その後も熱海での大規模土石流発生、駅や列車での襲撃事件多発、中学校での男子生徒刺殺事件、放火による火災など暗いニュースが続き、新型コロナは新たな変異株の出現により一向に収束の兆しが見えず、そして養豚業界にとって最大の関心事である豚熱の発生も続き、辛い一年となりました。

今年は寅年。なんとか明るい年にならないかと寅年の特徴を調べてみたところ、ワクワクする記事を見つけました。虎は瞬時に「千里を行って千里を帰る」ことができると言われていて、寅の日に旅行に行くことと安全に帰ってくるができることか、寅の日に財布を買うと出て行ったお金を呼び戻してくれるなど言われているようで、寅の日は吉日の中でも最も金運に縁がある「金運招来日」なんだそうです。今年こそ当たるのか？！

何はともあれ、今年は豚事協主催のイベントは参集しての開催が出来ればと願っています。どうかみなさんも体調管理、感染防止に努めていただきますようお願い申し上げます。（東）